

# KALS 大学院入試対策講座 受講生の皆様

## 専属チューターからメッセージ

# 2016 チュートリアル通信

## 【MBA Vol.7】



河合塾 KALS の大学院入試対策講座では、チューター制度を導入しています。授業での合格指導のみならず、受講生向け学習ガイダンス「サクセスチュートリアル」や個別相談（カウンセリング）などを通じて、進路・志望先に関すること、自主学習に関することなど、合格に向けてきめ細かくアドバイスをしています。以下は、MBA チューターから皆さんへのメッセージです。今後の受験対策のご参考にしてください！



## ◎JBCC(日本ビジネススクール・ケース・コンペティション)について

今年も JBCC(日本ビジネススクール・ケース・コンペティション)が開催されました。JBCC とは、全国のビジネススクール生が大勢参加する国内有数のビジネスコンペです。日本企業が抱える問題をテーマに、毎年ある1つのオリジナルケースが課せられます。今年はあるアパレルメーカーの再生戦略、成長戦略について取り組みました。

予選を通過し、本選に進出した僅か20チームの中になんと3チームも、2015年にKALSを卒業したメンバーの所属するチームが選ばれました。KALSでの学びがMBA生活に活かしている証かもしれません。

入学後の学生生活をイメージする上で、ご参考になれば幸いです。コーヒープレイクとして、よろしければご一読ください。

## ◎開催規模

JBCC への参加学校数、参加者数は年々増加傾向にあります。

項目	小項目	2010	2011	2012	2013	2014	2015
参加者	参加学校数	8校	15校	12校	19校	21校	22校
	エントリー数	73名	256名	188名	382名	560名	599名
	チーム数	20チーム	68チーム	51チーム	105チーム	151チーム	160チーム
協賛	企業数	7社	9社	8社	10社	11社	18社
当日運営	観覧者数	96名	183名	約400名	約400名	約400名	約500名
広報	取材媒体	朝日新聞(9/4)にて特集	NHKBizスポ(8/8)にて特集、Ustream	Ustream	日経ビジネスOnline、DHBR HP、Ustream	日経ビジネスOnline、DHBR HP、Ustream	DHBR HP、Ustream

(出所: JBCC 公式 HP <http://jbcc.jimdo.com/>大会情報/)

開会式の運営委員スピーチによると、2016年は165チームがエントリーしたそうです。本選には20チームが進出しました。

## ◎今年のテーマ

営業利益が2期連続赤字になったアパレルメーカーのリバイバルプランを考えることがテーマでした。縫製工場を起源とする老舗メーカーで、創業者一族が実質的なオーナーです。主人公は社長として社外から招かれ、再建を託されました。

問題把握のフェーズでは、会計への深い理解と読解力が必要となります。財務諸表や売上データを見て、赤字の要因が何であるか考えます。また、外部環境の変化を捉え、なぜこのような苦境に立たされているのか検討します。

短期的な施策として、何らかの止血手段を打たなければなりません。長期負債に着目し、資金繰りについて言及すべきと主張したチームや、海外工場売却を主張したチーム、大幅な人員削減案を打ち出したチーム、チャネル変更、ブランド撤退について述べたチームもありました。

長期的な成長戦略は、各チームのアイデアに創意工夫がありました。例えば、中国市場への進出、ECチャネルでの3D試着、ペット服の展開、医療機関とコラボレーションしたマタニティドレス、ベンチャー企業買収などの提案がありました。

審査員の一人は「再生戦略にはある程度の正解がある。大切なのはリアリティ。成長戦略はクリエイティブ。こういう状況だからこそ、イノベーションが求められる。」とコメントしておられました。

## ◎結果と各学校の特徴

2016年は、優勝が慶應義塾、二位が一橋でした。特別賞に慶應義塾(優勝チームとは別のチーム)とグロービスが選ばれました。優勝チームは、経営理念の意味を大切に、熱のこもったプレゼンテーションを行いました。分析の深さはもちろん、ケースへの思い入れや気迫を感じさせ、会場がある種の感動に包まれました。二位の一橋は、審査員から問題の構造分析の深さを讃えられていました。

最も応援が盛んだったのはグロービスです。はちまきを巻いた応援団が会場に大勢いらっしゃいました。出場者メンバーが愛されている証拠ですね。立教は、会場に学校旗を飾っていました。早稲田は応援者が揃いの学校Tシャツを着て臨んでいました。慶應も大勢が応援にきていました。各学校の団結力を感じます。

カウンセリングで、MBA進学理由に「人脈づくり」を挙げられる方が多くいらっしゃいます。学校生活を送っていると、級友は何よりの財産だと感じます。受験は大変ですが、その先には優秀な仲間たちとの出会いが待っています。この記事が少しでも受験勉強のモチベーションになれば幸いです。

MBA チューター 望月

来年は皆さんが出場なさる番です。KALS 卒業生から優勝者ができることを祈っています！

